

平成 30 年 5 月 23 日 10 時 30 分 ~ 11 時 30 分

司会	亀岡清泉荘 代表 松野	記録	亀岡清泉荘 代表 松野
----	-------------	----	-------------

出席者 南部地域包括支援センター・主任ケアマネージャー今西さま、亀岡市役所・土川さま、藤田さま、南条区長・菱田さま、曾我部町・桂さま、民生委員・並河さま、後藤さま、介護相談リンクす・吉川さま、利用者さまご家族上野さま、亀岡清泉荘・、李原、中村

欠席者 民生委員 八田さま

1. 5月23日現在の利用者さまの状況（別紙参照）
小規模多機能ホーム登録利用者さま：27名、グループホーム登録利用者さま：9名
2. 利用者さまの地域について（別紙参照）
3. 職員体制（別紙参照）
4. 事業活動について（別紙参照）
5. 事業所内の活動について（別紙参照）
6. 今後の予定（別紙参照）
7. その他
南部地域包括支援センター 今西さまより
南部地域包括支援センターは平成30年4月1日に立ち上げた。新しく初めて開設されたもので、前任のあゆみさんからの引き継ぎを受けて1ヶ月がすぎた。曾我部町、東別院町、西別院町の3町を受け持ち、民生委員さんの生活圏域に合わせている。高齢化が進む中、要支援から要介護への区分変更のケースが多くなっている。地域では4月に説明会を開催し、5月からは地域のサロンなどに出向いたりしている。徐々に顔合わせをしながら、地域の実情を聞いて課題を発見し解決に役立てるようにしていきたい。
8. 小規模多機能ご利用事例
ご夫婦二人暮らしで、夫が小規模多機能を利用中、妻が治療で入院の必要性ありその間（2～3週間）小規模ショート利用の希望あるが、夫のバルンカテーテル等医療対応があるケースについての報告と相談、レスパイト入院などの情報提供をして頂いた。
8. 亀岡清泉荘へのご要望、助言等

質問・要望・助言	回答・対応
グループホームで胃潰瘍による入院のケースがあったが、ホームとして今後どのような体制で取り組んでいくのか。 胃潰瘍などは1日～1週間で悪化することもあり、食思の状況や本人のストレスの状況など見守りながら対応されたい。	認知症の方の症状の主訴を的確に把握することは難しい面がある。医療との連携をさらに密にする必要がある。ホームには看護師を3名配置しているが、介護職員を含めて会議や研修を通じて対応力を高めていきたい。
上記の件に関連して、看取りのケースも昨年あったように聞いている。事業所内の研修とともにグループホーム連絡会等においても、相談研修の機会をつくっていくのも1つの方法ではないか。	看取りについては、一つ一つのケースでの対応を丁寧にしていきたい。主治医、訪看との連携もより密にしていくとともに、必要な書面の整備やご家族への説明を進めていきたい。 グループホーム連絡会議での意見交換の場は、会議や適宜の電話連絡等も含めて対応力を高めていきたい。

<p>人員体制の中で、グループホームの看護師の配置が1となっている。訪看との連携によると聞いたが、どういった事業所か。</p>	<p>「特定非営利活動法人訪問看護ステーションこころ」と医療連携の契約をしており、24時間、365日の体制で対応していただいている。月2回の定期訪問とオンコールで必要に応じてアドバイス、来所による処置・指導等お願いしている。</p>
<p>介護相談リンクすさんより、冊子を使つての介護の利用相談やイベント、レクリエーションなどしている。元アナウンサーの村井さんによる口の体操、バリ舞踊、紙芝居などがあるので、6月に企画の相談ができれば、7月以降に実施できるかと思う。</p>	<p>5月中にホームの行事担当より連絡するので、是非企画を進めていきたいと思うので、よろしくをお願いします。</p>
<p>普通救命講習について、回覧は曾我部町全域で行うのがいいのではないかと、また、事前に名簿を作成する必要があるため、回覧だけでなく申込を受ける書面も用意しておく必要がある。</p>	<p>自治会各班の回覧に入れてもらうこととし、受講申し込みはFAXもしくは電話で受けようしていきたい。実施時期は6月もしくは7月で調整していく。</p>
<p>中学の職場体験の受け入れも検討しているようだし、また小学校との交流会も行っていることは地域連携には役立つと思う。子供110番の活動もしていることから、さらに子どもの見守り支援なども含めて地域での活動を期待したい。</p>	<p>ホームの会議でも、登下校の小学生の見守りの話も出ている子ども110番の延長として、地域の子供の安全に役立つ活動を心がけていきたい。</p>
<p>次回、運営推進会議は平成30年7月25日（水）10時30分～12時00分までの予定。</p>	